いばらき
労働福祉
Vol. 350
2016 年 5 月
一般社団法人　茨城県労働者福祉協議会

シャトーカミヤ
（JR 牛久駅東口から徒歩 8 分、圏央道つくば牛久 IC から約 20 分）

目　次

中央労福協 奨学金問題対策署名提出
地域労福協レポート（県北・土浦）
中央労働金庫「お客様参加型の社会貢献活動」
全労済茨城県本部　第 43 回全労済小学生作品コンクール
学習支援プロジェクト～茨城大学 人文学部社会科学科
健康＆食　―アスパラ―
クイズ　出会いサポートセンター
NPO 法人フードバンク茨城
旅のガイド　―牛久市―

●ライフサポートいばらき「くらし何でも相談」（法律・年金・結婚・多重債務など）
http://lsi.or.jp　0120－786－184（電話相談）月曜～土曜日 10 時～ 18 時

中央労福協

「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名」を提出しました。（3 月 22 日）

今や大学生の２人に１人が奨学金を利用し、卒業後も数百万円にも及ぶ返済に苦しみ社会問題化しています。「借りざるを得ない」「返したくても返せない」のは、学費の高騰や雇用劣化などによるもので、社会構造的な問題となっています。このままでは、貧困の連鎖や、結婚、出産、子育てにも影響をおよぼし、少子化・人口減少を更に加速しかねません。中央労福協の方針に基づき、奨学金制度の改善に向けて世論を喚起しも社会運動にしていくため、全国的に昨年７月に実施した「奨学金に関するアンケート調査」に引続き、「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名」を取組み、301 万 3851 筆の署名を内閣総理大臣宛に提出しました。

左から大内中京大学教授、黒河副会長、神津会長
世耕副官房長官、岩重弁護士、花井事務局長

「院内集会」を開催しました。（参議院議員会館）

約 400 人が出席した国会院内集会

同日、署名提出に続き参議院議員会館において中央労福協、奨学金問題対策全国会議が主催した集会が行われました。奨学金問題対策全国会議の大内裕和代表は「高等教育を家計で支えることが困難になり、学びたい人が学べなくなっている、ぜひとも超党派で取り組む政策課題として考えていただきたい」と要請。岩重弁護士は、「現場で相談を受けている立場から、返済が困難になったときに救済制度が使えない実態や、現在検討されている所得連動型奨学金制度の問題点を指摘し、現場の実情を聴取しつつ制度改善をはかるよう」と訴えた。衆参国会議員、労福協関係者、労働団体など約 400 人が出席し、超党派での取り組みが確認されました。

変えよう！奨学金

若者たちが、学ぶために多額の借金を背負って社会に出ていく今の状況が続けば、この社会は成り立たなくなります。
みんなで声をあげ、奨学金制度を変えていきましょう！

1．貸与から給付へ ～本来の奨学金に～
大学において国の給付型奨学金制度を導入し、高校を含め拡充しよう！

2．貸与型奨学金の改善
◆利息・延滞金のない、無利子の奨学金を！
（せめて変換金は元金から充当して！）
◆所得に応じた無理のない返済制度をつくろう！

3．大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充を！

県北地域労福協

○○○○○○○○○○○

県北地域労働者福祉協議会（略称 県北地域労福協）は、（一社）茨城県労働者福祉協議会の地域組織として、日立・高萩・北茨城の県北地域勤労者の福祉活動を推進し、地域福祉の発展と勤労者の経済的・社会的地位の向上に寄与する事を目的に、日々精力的に活動を進めております。

今年度の主な活動は、2015年9月18日に56名の参加を得て、第18回のチャリティーゴルフ大会を開催、チャリティー金「56,000円」を集約して、北茨城市社会福祉協議会に寄付をして参りました。なお、このチャリティーゴルフ大会は毎年開催し、集約した寄付金を県北3市の社会福祉協議会に輪番で寄付しております。

また11月には、これまでの日帰りバスツアー企画を一新して、築地散策と劇団四季「ライオンキング」観劇を企画し大盛況・大好評で終えることができました。今後も趣向を凝らし、引き続き参加者に喜ばれる企画をして参りたいと考えます。

県北地域労福協は、5月13日に日立市のホテル天地閣にて、第24回定期総会を開催しこの一年の総括をしながら、引き続き県北地域労福協の存在価値を示せるよう、2016年度の活動方針を審議決定し、県北地域勤労者の福祉向上を目指して活動を進めて参ります。

地域労福協レポート

土浦地域労福協

土浦地域労福協では、昨年11月19日に役員研修会として国会見学を行いました。当日は郡司彰参議院議員に案内頂き、一般の見学では入る事のできない部屋等を見学する事ができ、非常に良い研修会となりました。

また3月12日には、毎年参加している、かすみがうら市社会福祉協議会主催の「親子レクリエーション」に今年もスタッフ協力として参加し、体の不自由なお子さん達と一緒に、いちご狩りや「茨城自然博物館」の見学を楽しんできました。

3月14日には、恒例のパーティー事業として「ホワイトdeパーティー」を「いばらき出会いサポートセンター」と共催で「L'AUBE霞ヶ浦」にて開催しました。当日は男女合わせて29名が参加し、3組のカップルが成立するなど、今回も盛り上がりました。

2016年度も色々な活動に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を、宜しくお願い致します。

中央労働金庫 「お客様参加型の社会貢献活動」のご紹介

〈中央ろうきん〉では、勤労者のための非営利･協同の福祉金融機関として、働く人の暮らしや福祉の向上、安心できる社会の創造をめざして社会的課題の解決に取り組んでいます。今回はお客様参加型の社会貢献活動として、2つの取組をご紹介いたします。

「ピンクリボン運動」支援について

2011年9月よりお客様参加型の社会貢献活動として、「ピンクリボン運動」を支援しています。2015年9月末までの約4年間の取組みで、累計74,166,185円を公益社団法人日本対がん協会「乳がんをなくすほほえみ基金」に寄付いたしました。尚、2016年4月より寄付の対象となるお取引が次のように変更となりました。①月10万円以上の給与・賞与振込（お客様ごと）、②インターネットモバイルバンキング（個人版）によるお振替・お振込・ご返済、以上①、②のお取引1件につき1円を寄付いたします。また、③女性向け積立預金「Rukuo（ルクオ）“わたしの積立”」の新規ご契約1件につき50円を寄付いたします。どなたにもご参加いただける社会貢献活動です。ぜひ〈中央ろうきん〉をご利用ください。

ろうきんエコブック制度（Re Book）

「Re Book」は、〈中央ろうきん〉と会員である労働組合・生活協同組合とその組合員がともに取組む新しい社会貢献の仕組みです。主に知的障がいや発達障がいのある方を支援する福祉施設へ古本を寄贈することで、障がいを抱えた方々に“はたらく場”を創出します。はたらく仲間を応援する〈中央ろうきん〉と労働組合のコラボレーションにより実施する本制度は、「障がいの有無にかかわらず、能力に応じた社会参加」を促す、当金庫独自の取組みです。2010年6月より開始し、2015年7月末までの約5年間の取組みで、累計寄贈冊数は90,998冊となりました。

これからも〈中央ろうきん〉は、本活動を通じて障がいのある方の就労を支援していきます。

〈お問い合わせは〉中央ろうきん 茨城県本部　☎029-221-4181

全労済茨城県本部（茨城県勤労者共済生活協同組合）

「第43回 全労済小学生作品コンクール」

「全労済小学生作品コンクール」はおかげさまをもちまして、1973年の開催以来、今回で43回目を迎えることができました。今回の作文のテーマは「ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～」とし、版画のテーマは自由課題として募集したところ、作文の部は32校から510点、版画の部は36校から1,727点と大変多くの創意あふれた作品をお寄せいただきました。作文では、なりたい職業に限らず、理想とする人柄や考え方など幅広い未来が綴られており、将来に対する希望や真剣さが伝わるものばかりでした。版画では、手法・色など様々な技法を用いたバラエティに富んだ作品が多く見られました。作文・版画いずれの作品も素晴らしい作品が多く、応募いただいた皆さまに御礼を申し上げます。また応募いただいていない皆さまにおかれましても、次回開催の際に奮って応募いただければと思います。作品集は各ショップの窓口に置いてありますので、ぜひ力作の数々をご覧になってください。

〈版画〉全労済茨城県本部長賞「シュートをきめるぞ」
常総市立豊田小学校　1年　飯岡優世さん

〈版画〉茨城県知事賞「紅色の門」
鹿嶋市立三笠小学校 5年 桐原妃菜さん

「被災地の子どもたちの森づくり支援活動」

2016年3月4日 石岡市立吉生小植樹の模様

全労済では「東日本大震災を風化させない取り組み」として、被災地の緑の回復と子どもの健全育成を目的に緑化活動を行う児童の組織「緑の少年団」を支援しています。茨城県においては2016年3月4日に石岡市立吉生小学校に隣接する吉生の森にてヤブツバキとシャガの植樹が行われました。植樹した木が子どもたちとともに健やかに成長し、小学校と周辺地域の皆さまの心を和ませるようになってくれることを願っています。

全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会
茨城県本部
（茨城県勤労者共済生活協同組合）
〒310-0804 水戸市白梅1-1-10

0815X014

ボランティア紹介

双葉台学習支援プロジェクト『学びと交流の秘密基地』

～茨城大学 人文学部社会科学科「労働経済論ゼミ」の取組み

経済的な理由で塾に通えない児童生徒を支援しようと、茨城大学の学生が無料で勉強を教える学習支援ボランティア『学びと交流の秘密基地』を水戸市内で開設しています。人文学部社会科学科「労働経済論」ゼミ（清山玲教授、学生23人）を受講する3、4年生が参加しています。平成26年8月に始まり平成27年2月、8月、平成28年2月（延べ48日間）に水戸市双葉台の双葉台ショッピングセンターホールにおいて市立双葉台小と双葉台中生の児童生徒を対象に学習支援を実施してきました。

ゼミ生にお話を伺いました。

●始めたきっかけは・・・

労働経済論ゼミでは、若者の雇用問題をテーマとしたとき、「経済的な理由で学習機会が少なくなり、将来も経済的困難に陥る“貧困の連鎖”」を学習しました。平成26年3月にNPO団体との円卓会議があり、茨城NPOセンター・コモンズより、公営住宅における貧困層と単身親世帯の増加が指摘されました。学生として何ができるのかを検討していたところ、公営団地があり活動拠点を確保できる双葉台団地における学習支援をしてみようとなりました。塾の講習を受けることができない、また学校の授業についていけない子どもたちを指導することとなりました。

●運営はどのように・・・

ゼミ生23人が交代で講師を担当しました。また、施設を提供していただいたり、水戸市教育委員会・保健福祉部、県および市の社会福祉協議会、双葉台小中学校、青少年育成会など地域団体との連携をいただき活動できました。平成26年より「夏休み」と「2月（高校入試や期末テスト前）」に実施してきました。

●今後はどのように・・・

より地域に根付いた活動をしていきたい。水戸市内の他地域から学習支援の要望が寄せられています。ゼミ生だけでは無理なので、理学部・教育学部生、また教師経験のあるOBOGに呼びかけ一緒に活動したいと考えています。子どもの貧困、貧困の世代間連鎖といった問題意識を持っていただく研修も予定しています。また安定した活動組織とするためNPO法人化を検討していきたい。

茨城大学　清山教授より

原稿未入稿

問合せは　Mail：roukei.ibaraki@gmail.com へ

健康&食（No.120）

アスパラ

日本にやってきたのは18世紀。オランダ人によって伝えられました。当時は鑑賞用として親しまれていました。食用になったのは19世紀以降です。一般家庭に広まったのは昭和30年代ころといわれています。

●調理のコツ

緑のものはゆでたり炒めたり、白いものは缶詰めで買ってサラダに…と、異なった食べ方をすることが多い2種類のアスパラガス。たくさんの日光を浴びるとグリーンアスパラガスに、盛り土をして育てるとホワイトアスパラになります。

●選び方と保存のポイントチェック

まずは、選び方のポイントです。①穂先がしまり茎がまっすぐでしっかりしているものもの。②緑の濃いもの。③切り口がみずみずしく乾燥していないもの。以上、3点を確認しましょう。

次に保存のポイントです。日がたつと鮮度が落ち、中の繊維も固くなってしまいます。できるだけ早く食べましょう。食べきれない場合は、さっとゆでて冷凍保存をすると良いでしょう。

●はなまる㊙レシピ

「美味しい食材をより美味しく、みなさんに食べてもらいたい。」という想いを込めてご紹介します。ぜひご家庭で実践してみてくださいね！

〈豚肉とアスパラのチーズ蒸し焼き〉（2人分）

・材料　豚モモ肉しゃぶしゃぶ用…125g
　アスパラ…50g、キャベツ…1/4個
　とろけるチーズ…40g、塩こしょう…少々
　油…大さじ1

A
- しょうゆ…大さじ1と1/2
- みりん…大さじ1と1/2
- おろしにんにく…1片
- おろししょうが…1片

①アスパラは根元の皮をむき、4等分に切る。解凍し、水けをふいた豚肉は長さを半分に切って塩こしょうし、横半分に折ってアスパラを巻く。

②フライパンに油を熱し、①の巻き終わりを下にして入れ、転がしながら色よく焼く。

③Aの2/3量を加え、②を中央に寄せる。あいているところにせん切りにしたキャベツを入れ、残りのA、チーズをかけてふたをし、弱火で蒸し焼きにする。

TPP学習会第5弾 TPPの内容と今後の私たちの暮らしの行方

パルシステム茨城では、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について組合員とともに考える場として、2012年よりTPP学習会を継続的に開催しています。これまで、生産者やJA関係者また元農林水産大臣山田正彦氏や元日本医師会会長原中勝征氏を招き、TPP締結後の食の安全（遺伝子組み換え、農薬問題など）や医療制度などについて考えてきました。

今年の2月、ニュージーランドでTPP交渉12カ国による署名式が行われ、3月8日の閣議にてTPP国会承認を求める議案と関連法案が閣議決定されました。これらを受けて第5回目となる今回は、これら秘密入りに進められているTPP交渉について、独自の研究で解き明かしている「TPP交渉差止・違憲訴訟の会」副代表で元立教大学教授の池住義憲氏をお招きし、TPPとは何か、また今後考えられる影響や様々な疑問についてお話いただきました。

学習会に先立ち、ドキュメンタリー映画「自由貿易に抗う人々」を上映し、約20年前にメキシコが締結した北米自由貿易協定（NAFTA）がもたらした影響などが映し出されていました。

参加された方からは、TPPがもたらす影響などが見えてきた、今後も注意深くニュースなどを聞いていきたいなどの声があげられました。

3月17日（木）茨城県JA会館4階大会議室　参加102名
3月23日（水）JAつくば市谷田部本所3階大ホール　参加●●●名

漢字クイズ　クイズコーナー　第269回

茨城県内の地名です。読み方は？読み方を書いて下さい。　（パルシステム・安）

①木葉下（水戸市）
□□□□

②大角豆（つくば市）
□□□

③砂沢（日立市）
□□□□□

④大歩（堺町）
□□

⑤粟生（鹿嶋市）
□□□

⑥常名（土浦市）
□□□

⑦茨城（石岡市）
□□□

⑧高道祖（下妻市）
□□□□

応募方法と条件

1．クイズの解答、住所、氏名、勤務先を明記の上、お送りください。
2．よかった記事、ご意見などお寄せ下さい。
（ご意見などがないと失格になります）
3．メール、FAXでの応募も可能です。
4．あて先　〒310-0022　水戸市梅香2－1－39
茨城県労働者福祉協議会　編集委員会あて
メール　ib-roufuku@alpha.ocn.ne.jp
FAX　029-227-2240
5．しめ切り　5月31日（火）消印有効
6．**正解者10名に粗品をお送りします。**

第268回クイズ正解

①主＋イ＋宅＝住宅
②生＋言＋十＝生計
③次＋金＋貝＝資金
④震＋土＋也＝地震
⑤力＋力＋交＝効力
⑥冬＋身＋糸＝終身
⑦牛＋約＋寺＝特約
⑧示＋炎＋言＝示談

◆応募総数　通
◆当選者　名
◆抽選の結果、次の方に賞品をお送りします。（敬称略）

原稿未入稿

いばらき出会いサポートセンター
登録会員・パーティー参加者募集!!

☆（一社）いばらき出会いサポートセンターでは、結婚を希望する独身男女の「パートナー探しのお手伝い」や「ふれあいパーティーの開催」などの結婚支援を行っています。
☆開設以降，成婚組数は1,527組（H28.2.29）現在。会員の方が非会員の方と成婚した数も含みます。）となるなど着実に実績をあげています。
☆会員登録ができるのは，茨城県内にお住まいの方か，又は，お勤めの方です。
☆入会登録料は10,500円で３年間有効です。
☆入会手続きは結婚を希望する本人に限ります。

＊パーティー日程＊　非会員も申込み可。ホームページから更に詳細がご覧いただけます。
（お申し込みはホームページ又は水戸センターへ電話で）

No.2	4/23(土) 9:30～16:30頃	わくわく登山！ ＊マッチングはしません＊（年齢フリーの独身者）	里美支所集合（時間厳守）

【お問い合わせ先】
・水戸センター（水戸市三の丸）　☎029-224-8888
・県北センター（日立市鮎川町）　☎0294-35-4122
・県南センター（牛久市中央）　☎029-830-7502
・県西センター（下妻市砂沼新田）　☎0296-49-9222
・鹿行センター（神栖市大野原）　☎0299-92-8888

HPにアクセス！

NPO法人フードバンク茨城　あなたもできる食の支援

きずなBOXに食品を入れてください

社会的支援を必要とする人たちに食事提供をする非営利団体や福祉施設などに食品を届ける活動をしているNPO法人フードバンク茨城では、地域連携活動として公共の場所に「きずなBOX」（食品収集箱）を設置しております。この「きずなBOX」には、ご家庭などからの食品をどなたでも入れることができます。

このような食品が特に必要とされています

缶詰、お米、レトルト食品、インスタント麺、うどん、そば、パスタ等の乾麺

〈寄贈いただく食品に関するお願い〉

- 常温保存可能、未開封で、賞味期限が2ケ月以上残っている食品をお願いします。
- 要冷蔵・冷凍品、および野菜・果物のような生鮮食材は入れないでください。
- 割れやすい容器の食品は入れないでください。
- 市販の精米・玄米以外の米類は、フードバンク茨城事務所に直接持参願います。

常設型フードドライブ「きずなBOX」設置施設

- ●つくば市社会福祉協議会中央支所（つくば市役所 大穂庁舎内）
- ●つくば市民大学
- ●食と農のギャラリー葵（あおい・水戸市南町3丁目）
- ●茨城県労働福祉会館1階（水戸市梅香）
- ●つくばみらい市社会福祉協議会谷和原支所ボランティア市民活動センター
- ●つくばみらい市きらくやま ふれあいの丘　すこやか福祉館
- ●フードバンク茨城（パルシステム牛久センター）
- ●牛久市社会福祉協議会
- ●すくすく広場（牛久市子育て広場）
- ●牛久市総合福祉センター
- ●龍ケ崎市総合福祉センター
- ●龍ケ崎市社会福祉協議会 中央支所
- ●龍ケ崎市地域福祉会館

お問合せは　NPOフードバンク茨城　TEL 029-874-3001　E-mail fb.ibaraki@gmail.com

ー 読 者 の 声 ー

◆高峰の山桜、是非見たいです！楽しみ方、参考になりました。ソメイヨシノより控えめなところと白と薄ピンクのコントラストが素敵ですね。（M.O様）

◆昨年初めて高峯山の山桜を知り息子と登りました。途中、可愛いオブジェがあり楽しかっので今年友人数人と登る予定です。（S.I様）

◆仕事で北関東道を走ることが多いので、桜川市の山桜が楽しみです。（K.K様）

◆今回の認知症の普及啓発取組、更なる発展を期待しております。近くに何人か見られますが この人たちが安心して過ごせる社会を作る事に関心を向けて行きたいと思います。（N.I様）

◆3月号を家に持ち帰り、健康&食〈かぶの生姜焼き〉+〈かぶの味噌汁〉を家族で食しました。孫も美味しいと食べていました。（H.A様）

◆「健康・食」のページは新米主婦の為、いつも参考にさせて頂いています。これからも記事楽しみにしています。（N.S様）

◆労金で「確定申告相談会」を開催していることを初めて知りました。知らない人もたくさんいると思います。（K.S様）

◆「RUKUOマネーセミナー“美マネ講座”」今からでは遅いかもしれませんが、もうすぐ定年なので、また開催することがあったら参加したいです。（Y.K様）

◆労働条件や福祉情報以外に、最後のページに出会いサポートの紹介があったのに驚いた。でも、今後は必要になるかも…（K.K様）

◆ボウリングが趣味で得意なので、ボウリング大会に出たかったなあと思いました。出場していれば入賞できた自信があったので残念です。（M.H様）

編集後記

■奨学金問題対策の署名活動には、労働団体をはじめ多くの皆さんのご協力をいただき、ありがとうございました。3月末には政府が「給付型奨学金の創設」「無利子型奨学金の拡充」の検討をはじめるとの報道がありました。実現へ向け、更なるご理解をお願いします。

■水戸市内の大学生のボランティア活動をご紹介しました。支援の輪を広げましょう。

旅のガイド・茨城紹介

牛久日和に旅をして～牛久の魅力を再発見～

シャトーカミヤ

1903 年、日本初の本格的ワイン醸造場として完成した赤煉瓦造りの重厚な明治西洋建築は、2008 年に国の重要文化財に指定されました。当時は約 6000 本のブドウ苗が植えられ、収穫されたブドウでワインを醸造。現在はワインの瓶詰めを行うとともに地ビールも生産し、敷地内の各レストランや地ビールカフェで味わえます。春は桜、夏は緑、秋は紅葉がシャトーカミヤを彩り、視覚も味覚も存分に楽しめます。

● JR 牛久駅東口から徒歩 3 分
●お問合せ ☎ 029-873-3151

牛久自然観察の森

全国に 10 か所しかない「自然観察の森」のひとつ。約 21 ヘクタールという広大な敷地を散策しながら、自然に触れることができます。日曜や祝日にはレンジャーによる自然観察会も開催。平日にも子ども向けイベントがあり、気軽に参加できます。また、季節ごとに親子で参加できる自然教室も開催しています。また園内のネイチャーセンターでは虫メガネや双眼鏡を無料貸し出し。草原に寝転がって虫メガネを使い小さな虫を見つけたり、バードウォッチング用の壁「ハイド」から双眼鏡を使って、森に生息する鳥たちを静かに観察したり。もちろん、森林浴を楽しみながら散歩したり、お弁当を持ってピクニックに行くにも最適な場所です。

● JR 牛久駅から車で約 15 分
●お問合せ ☎ 029-874-6600

牛久大仏

ギネスブックも認定！
～世界 1 の大仏はこんなに大きい！～

圏央道の開通により、ますます人気が高まる「牛久大仏」高さは地上から 120m もあり、台座からの像高は 100m と世界 1 の大きさ！奈良の大仏様が約 15m、ニューヨーク自由の女神像も約 40m だから、その大きさは目を見張るばかり。

イベント情報

開催日はお出かけ前にご確認ください

観光アヤメ園

牛久沼の散策道を通り抜けると、そこは初夏を彩る観光アヤメ園。
約 200 品種、1 万本のアヤメ、ハナショウブ、カキツバタが咲き誇ります。

毎年 6 月初旬から開花、中旬が見ごろ

うしくかっぱ祭り

延べ 1 万人以上の踊り手が参加する「河童ばやし踊りパレード」はメインイベント。花水木通りを踊り歩きます。毎年、かっぱ姿の踊り手も多数参加します。

7 月の最終土曜日と日曜日
問合せは、☎ 029-874-5554
牛久市観光協会へ

※案内作成にあたり、牛久市観光協会より、記事・写真をご提供いただきました。

いばらき労働福祉 Vol.350
2016年5月1日発行（隔月1日発行）
一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会
一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会　〒310－0022 水戸市梅香 2 丁目 1 番 39 号（茨城県労働福祉会館内）
TEL 029(231)3503　FAX 029(227)2240　URL http://www.ib-rofuku.or.jp/
印刷所：佐藤印刷株式会社　029(251)1212